



2016.12

がん哲学外来 ナース部会

ニュースレター

VOL. 8

第2回シンポジウム終了

7月2日(土)に東京・東中野キングスガーデンにて、第2回がん哲学外来ナース部会シンポジウム『がん哲学外来へようこそ』を開催いたしました。

約70名の方にご参加いただき、内田由美子氏(和み訪問看護ステーション代表)、高野みどり氏(上武大学看護学部准教授)の基調講演、患者・家族・薬剤師の方を交えたパネルディスカッションと充実したひと時でした。

当日の様子は「統合医療でがんを克つ」8月号にも掲載されました。

講演会・患者会・学会

イベント情報ファイル

がん哲学外来ナース部会
シンポジウムが主催する

「がん哲学外来」は、がん患者さんやそのご家族、医療従事者、一般の方など、多くの方の参加を歓迎しています。また、がん哲学外来では、がん患者さんやそのご家族、医療従事者、一般の方など、多くの方の参加を歓迎しています。

「がん哲学外来」は、がん患者さんやそのご家族、医療従事者、一般の方など、多くの方の参加を歓迎しています。また、がん哲学外来では、がん患者さんやそのご家族、医療従事者、一般の方など、多くの方の参加を歓迎しています。

「がん哲学外来」は、がん患者さんやそのご家族、医療従事者、一般の方など、多くの方の参加を歓迎しています。また、がん哲学外来では、がん患者さんやそのご家族、医療従事者、一般の方など、多くの方の参加を歓迎しています。

がん哲学ナース部会の基本理念

～小さなことに、大きな愛をこめて～

市民公開講演会(対馬市交流センターに於いて)で、講演『医療の協働体～Medical Villageの時代に向けて～』の機会が与えられた。筆者にとって、対馬は、初めての訪問であった。懇親会では、将来構想で、大いに話が盛り上がり、早速、来年4月、対馬で、『がん哲学外来・カフェ』、さらに『対馬 Medical village 運営委員会』、『記念シンポジウム』を開催することが決定された。『速効性と英断』には大いに感服した。週末、早稲田大学中野校での講座『がんと生きる哲学』、愛知医科大学での講演『がん哲学外来～小さなことに、大きな愛をこめて～』に向かった。日本発の『中学生が立ち上げるがん哲学外来カフェ』開催が、即座に決定された。筆者の新刊『病気は人生の夏休み』の話で盛り上がった。まさに『良きおとずれ』である。「小さなことに、大きな愛をこめて」は、がん哲学ナース部会の基本理念であろう。

がん哲学外来ナース部会顧問 樋野興夫

自分の人生を贈り物にする ナース部会代表 上杉有希

樋野先生の言葉の処方箋で『自分の人生を贈り物にする』という言葉があります。この世を去る時、あの世には何も持っていきません。命さえも贈り物。後世へのプレゼント。お金や財産ではなく、「勇ましく高尚なる生涯」(内村鑑三)は誰にでも残すことができます。大切な友人からの人生の贈り物を紹介します。

『ありがとうございます 私達は覚悟の出来ている患者です 皆さんの親切に感謝して、病気のない人よりたくさんの事を学ばせて貰えました たくさんの仲間入りも出来ました 私の人生に感謝しています～』この2日後、彼女は天に召されました(合掌)

がん哲ナース募集中・HPよりお申込みください

がん哲学外来ナース部会HP：<http://gantetsuns.jimdo.com/>
ナース部会ブログ：<http://blogs.yahoo.co.jp/gantetsugakugairains>

がん哲学外来ナース部会 (一般社団法人がん哲学外来内)
顧問：一般社団法人がん哲学外来理事長 樋野興夫 /編集 上杉有希

がん哲学外来ナース部会研修会

2016.11.3 東中野キングスガーデン

13時～2017年度ナース部会シンポジウムについて

日時：6月10日(土) 午後場所：東中野キングスガーデン

実行委員会形式により開催

議題：・シンポまでの年間スケジュールについて

・チラシについて(スウェンソンに頼むか?自分たちで作成するか?)

・講師を誰に頼むか?(費用も)

・参加者の範囲

・参加費 等

研修会を行いました

11月3日(木・祝)に、東中野キングスガーデンにて研修会を行いました。OCCメディカルカフェのスタッフも含め、12名の方に参加していただき、ありがとうございました。

事例検討を行い、日々のカフェ・看護の場での思いや問題点を意見交換し、共有することができました。



月1回部会をしています

OCCメディカルカフェの日に、メディカルカフェに参加、終了後に近隣のカフェにてがん哲ナース部会を行っています。初めて部会に参加ご希望の方は、OCCメディカルカフェから引き続きの参加をお願いします。